はじめに

この説明書はガイドマウントXYの取扱説明書です。ご使用にあたり、赤道儀やマルチプレートDXなど併用する機器の説明書も併せてお読みください。

ガイドマウントXYは、ガイド撮影において使用するガイドスコープを天体望遠鏡に取付けるための架台です。微動装置により、ガイドスコープの向きを高度方位方向に±6.5°程度動かすことができます。また低重心構造により、赤道儀への搭載過重(モーメント過重)を軽減しています。

株式会社ビクセン
〒359-0021 埼玉県所沢市東所沢 5-17-3
[代　　表] TEL:04-2944-4000 FAX:04-2944-4045
[ホームページ] http://www.vixen.co.jp

製品についてのお問い合わせ
弊社ホームページ(左記URL参照)のお問い合わせメールフォーム、またはお電話にて受け付けております。

カスタマーサポートセンター	電話番号:04-2969-0222(カスタマーサポートセンター専用番号) 受付時間:9:00〜12:00、13:00〜17:30(土・日・祝日、夏季休業・年末年始休業など弊社休業日を除く)

59キ-2-0.1S-(水)

Vixen

ガイドマウントＸＹ 取扱説明書

内容物

内容物をよくお確かめください。

内容物	数量	備考
ガイドマウントXY本体	1	
ネジ:M8×12mm	2	プレートホルダーSXの取付けなどに使用。
ネジ:M8×20mm	2	ガイドマウントをマルチプレート等に取付ける際に使用。
ネジ:M6×20mm	2	アタッチメントプレートWTを直接取付ける際に使用。
六角レンチ6mm	1	M8用
六角レンチ5mm	1	M6用
取扱説明書	1	本書

スペック

品名	ガイドマウントXY
高度・方位微動	ダブルスクリュー式微動ツマミ(高度・方位クランプ付)
可動範囲	±6.5°(高度微動ツマミ・方位微動ツマミ共通)
プレート取付ベース	厚さ10mm、M8用素通し穴×2(35mm間隔)
雲台ベース	厚さ10mm、M6用ネジ穴×2(35mm間隔)、M8用ネジ穴×2(35mm間隔)
大きさ	100×79×160mm(ハンドルを含む)
重さ	750g
付属品	ネジ(M8×12mm:2本、M8×20mm:2本、M6×20mm:2本)

各部名称

No.	名称
①	高度微動ツマミ
②	筒受ベース(厚さ10mm)
③	プレート取付ベース(厚さ10mm)
④	高度クランプ
⑤	方位クランプ
⑥	方位微動ツマミ
❶	M8対応穴 35mm間隔
❷	ネジ穴:M8(深さ10mmまで。35mm間隔)
	プレートホルダーSX、他社製鏡筒などに対応
❸	ネジ穴:M6(深さ10mmまで。35mm間隔)
	アタッチメントプレートWTの取付けに対応

ご使用方法

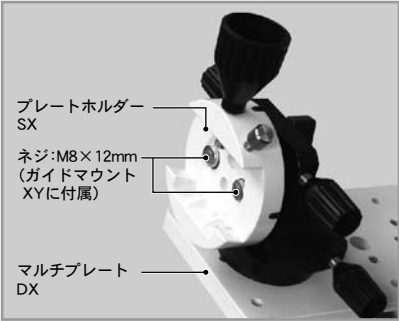
組立て方

マルチプレートDX、プレートホルダーSX、およびアタッチメントプレート(WT)を装備したガイドスコープを使用した例でご説明いたします。
ここでの説明は一例であり、ご使用状況により組み合わせは変わります。他の組み合わせでご使用の場合はそれぞれ応用のうえご使用ください。

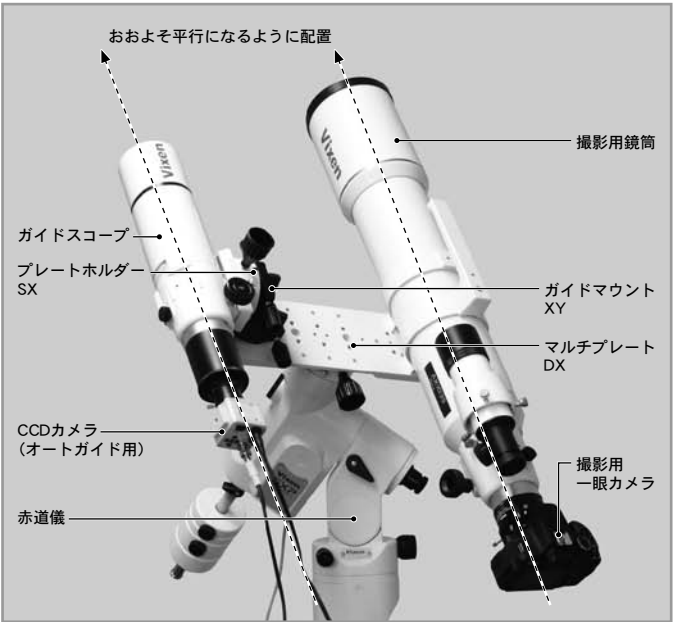
1 赤道儀にマルチプレートDXを取付け、撮影用鏡筒を取付けます。

2 写真を参考に、ガイドマウントXYをマルチプレートDXに取付けます。プレート取付ベース面をマルチプレートDXのプレート面に合わせ、筒受ベース面(ガイドスコープ取付け面)が撮影用鏡筒の光軸とおおよそ平行になるように取付けてください。マルチプレートDXへの取付け箇所については、好みのネジ穴に合わせてください。
付属のネジ:M8×20mm(長い方:2本)と六角レンチ6mm(大きいほうのレンチ)を使用し、ゆるまないようにしっかりとしめてください。

3 写真を参考に、プレートホルダーSXを筒受けベースに取付けます。
付属のネジ:M8×12mm(短い方:2本)と六角レンチ5mm(小さいほうのレンチ)を使用し、ゆるまないようにしっかりとしめてください。

注:プレートホルダーSXを取付ける場合はガイドマウントXYに付属のネジ(M8×12mm)をご使用ください。プレートホルダーSXに付属のネジ(M8×14mm)では長すぎます。

4 プレートホルダーSXの溝にアタッチメントプレートを合わせてガイドスコープを取付けます。取付け方については赤道儀またはガイドスコープとして使用する鏡筒の取扱説明書にてご確認ください。

組立て例(ガイド撮影システム)

※写真は、ガイド撮影システムの組立て例です。実際はご使用状況により異なりますので、応用して組立ててください。

ガイドマウントの操作方法

ガイドマウントの微動ツマミは押しネジ2本でピンを挟んだ構造となっており、ネジでピンを押す際の反発力で動く仕様となっています。動かす場合は片方の微動ツマミをゆるめてもう片方をしめながら動かします。高度微動ツマミ、方位微動ツマミともおおよそ±6.5°の範囲で動かすことができます。

操作後、不用意にガイドスコープの向きが動くのを防ぐため、ゆるめた方の微動ツマミを時計方向に回し、ガイドスコープが動かない程度の力で軽く固定してください。

高度クランプ・方位クランプについて

高度微動ツマミ、方位微動ツマミの硬さを調整する場合はそれぞれ高度クランプ、方位クランプを回して行ってください。
(注:微動ツマミのネジは強いため、クランプをしめても完全に固定することはできません。)